

新防食工法の普及へ

第18回
定期総会

高品質施工を強化

JERコンクリート補
改修協会(佐藤匡良会長)
は3日、都内で令和4年

度(第18回)定期総会を
開催。展示会事業等を通
じた多彩なコンクリート
防食技術ラインアップの
PR強化、防食工事高品
質施工体制を支える基盤
として防食工事技術者の
育成等を盛り込んだ令和
4年度事業計画案を全会
一致で承認した。

総会冒頭、佐藤会長は
公共インフラ分野では競
争激化が予想される中、
メーカー、会員との相互
連携強化や、独自技術か
つ豊富な防食ラインアッ
プという技術層の厚み、
そして施工・材料で高品
質にこだわり続けるとい
う姿勢をもって市場で強
みを出していくこの方針
を述べた。

今年度は協会取り扱い
防食工法の対外的認知活
動の強化に取り組む。ジ
ックボード工法について
は期待耐用年数50年対応
を強調し、技術研修会や
セミナー等を通じ対外的
に周知していく。施工体
制についてはJER専門



佐藤会長

技術者層の拡充を図るべ
く講習会・試験事業に注
力するとともに、会員各
社のコンクリート防食技
士資格の取得奨励・支援

適用範囲に 矩形を追加

JER協管路部会

JERコンクリート補
改修協会管路部会(井上
敬介部会長)は3日、都
内で第7回総会を開催。
管路防食・更生に対応す
る各技術ラインアップの
PR強化等の活動を盛り

に全国各支部で取り組む
ことで、高品質施工体制
の強化に取り組む。
新工法である「ジック
ボードAH工法(アンカ

込んだ令和4年度事業計
画案を承認した。

昨年度は、西日本・東
日本の各支部を設立。技
術面では複合マンホール
更生工法「ジックボード
M工法」の建設技術審査
証明を更取得。適用範
囲に現場打ちマンホール
(矩形)を追加した。
今年度の事業計画のう

「固定部分補修工法」
「HKS工法」(フリプレ
グ後貼り工法)につい
て各支部で研修会(工法
説明会)を開催する。

ち、普及啓発活動ではイ
ンフラ検査・維持管理展
等の展示会へ出展するほ
か、ジックボードJ・M
工法や耐硫酸モルタル工
法の各技術特長について
研修会等を通じPRして
いく。作成を進めている
積算ソフトを活用し、発
注者・コンサルタント対
応にも注力する。